

パール通信

vol.7
7.28.2011



p2

総会・実行委員会報告

- 伊勢新聞パール倶楽部第二回全体総会
- 伊勢新聞パール倶楽部チャリティーピアノコンサート第一回実行委員会

p3

会員活動紹介

- 小原芳美バレエスタジオ・舞踊研究所
小原芳美さん(四日市市)
- 髪さくら
平山弥生さん(四日市市)

p4

会員活動紹介

- 学校法人三重文化経済専門学校
小林美津子さん(津市)
- グローイングジャパン株式会社
伊藤文さん(松阪市)

p5

連載企画

- 「親バカ子自慢」 第七回
笠間哲秀さん
- 「なぜなに? 三重県」新コーナー
臨済宗興聖派浄明院

p6

連載コラム

「ビューティーコンサルタント林かつの
伊勢志摩魅力再発見!」

p7

インフォメーション

- パール倶楽部イベント案内
- メルマガについて・コラム

p8

新会員紹介

総会報告

伊勢新聞パール倶楽部 第二回全体総会

五月十九日、津市榊原町の「湯元榊原館」で、伊勢新聞パール倶楽部第二回全体総会が開かれた。

総会冒頭で、会長の中川千恵子氏は、『真珠のようにみんながつながり、輝く』を旗印に一年間活動することができた」と振り返った後、東日本大震災で被災した地域の復興支援に触れ、「私たちができ得る限りの力で、復興支援に取り組んでいきたい」と意気込み、締めくくった。

総会は、終始和やかな雰囲気で開催。

講演では、皇學館大学名誉教授の渡辺寛氏が、斎宮の歴史を紹介。会員は、目を丸くしたりしながら、興味深そうに聞き入っていた。

講演終了後、清少納言が枕草子に詠った「七栗の湯」に入湯。その歴史ある源泉を堪能した会員は、新年度の活動に向け英気を養った。

執行部参加者

会 長	中川	千恵子
副会長	水谷	太美
理 事	儀賀	美智子
理 事	田中	彩子
理 事	村田	典子
監 査	土川	禮子

実行委員会報告

伊勢新聞パール倶楽部

チャリティーピアノコンサート
第一回実行委員会

六月二日、津市桜橋の中華料理店「陶陶（タウタウ）」で、伊勢新聞パール倶楽部チャリティーピアノコンサート第一回実行委員会が開かれた。

冒頭挨拶で、会長の中川千恵子氏は、「自己啓発的な活動だけではなく、社会貢献につながる活動を発信していきたい」とチャリティーピアノコンサート開催に向け、強い意欲を示した。

同コンサートは、ウィーン国立音楽大学で教鞭をふるう倉田真里氏（会員の株式会社辻岡醸造の倉田志子氏の長女）が、地元三重県への恩返しと東日本大震災の復興支援を兼ねて企画し、開催場所となる津リージョンプラザお城ホールが聴衆で埋め尽くされる予定だ。

その第一回実行委員会では、顔合わせを中心に、開演時間、入場料などを話し合い、決定した。

次回実行委員会は七月二十二日を予定している。



開演時間・入場料などを話し合う
実行委員会＝津市桜橋「陶陶」で

実行委員

（地域別・五十音順）

中川	千恵子	〈津市〉
倉田	志子	〈津市〉
伊藤	順子	〈桑名市〉
伊藤	ふみ代	〈四日市市〉
加藤	一子	〈四日市市〉
須藤	慶子	〈四日市市〉
別所	幸枝	〈鈴鹿市〉
木下	慶子	〈津市〉

体を美しく動かせば、心も美しくなる

会員活動紹介

小原芳美さん 小原芳美バレエスタジオ・舞踊研究所主宰

四日市市笹川にある「小原芳美バレエスタジオ・舞踊研究所」主宰小原芳美さんは、「誰にでもバレエを気軽に習うことができる環境をつくりたい」と思い、昭和五十八年、小原芳美バレエスタジオを開設。

同年、民謡指導者の義母に勧められた日舞に虜になり、数年後、舞踊研究所を併設した。

併設当時、二足のわらじを履くことで、片手間にならないかと迷いがあつたという。

しかし、独自路線を貫くことにより、現在では、海外で開催される大会で受賞する生徒を輩出するまでに成長した。

指導の秘訣を聞くと、「二つのおどりの良い点を生かし、技術向上を図った指導法で、生徒たちに『体を美しく動かせば、心も美しくなる』という思いを伝えること」と語った。

バレエスタジオでは、舞踊の表現豊かな点を生かす。そのため、毎年開く発表会では、ホールを貸し切り、小さなスタジオではできない表現を可能にさせる。

一方、舞踊研究所では、躍動感あふれるバレエにならつてダイナミックな曲を選ぶなど、両立することでは生まれない点をおどりに反映している。

小原さんの指導により、踊るたびに生徒の心も美しくなっていくはずだ。



今では、胸を張ってバレエと舞踊の指導を兼任する小原さん＝四日市市笹川で

住 所：四日市市笹川3-76-5 和幸ビル4階
電話&FAX：(059)322-4782
U R L：http://www.geocities.jp/ohara_yoshimi_studio/
尊敬する人：マーゴット・フォンティーン

会員活動紹介

美しさを上げる技術で お客様を元気付けたい

平山弥生さん 髪さくら

美容院「髪さくら」代表の平山弥生さんは、「美しさを上げる技術で、お客様を元気付けたい」とこだわりを語った。

理由は、美しく整った髪を見たお客様が、笑顔を浮かべたからだ。

“笑顔を浮かべた瞬間”が忘れられず、技術を磨くことに力を注ぎはじめた。

私的な時間を割いて、技術の向上を図った勉強会や海外で開かれた講習に参加した。

さらに、学校に通いメイクの技術を習得するなど、美容師の枠を超えて、美しさを上げる技術を磨いた。

今後は、店舗を移転する予定で、移転予定敷地内に、ネイリストやマッサージ師といった美の専門家が出張して仕事ができる環境を整えて、全体で美しくなるサロンづくりを計画しているという。

「美しさを求めている女性と一緒に働きたい」と平山氏は力を込める。



三重スリーアローズのサイン入りキャップをバックに四日市市芝田で

住 所：四日市市芝田1-1-10 ピアロジューマンA棟2F
電 話：(059)354-3593
営 業 時 間：9:30 ~19:00 (完全予約制)
定 休 日：毎週月曜日
U R L：http://www.kamisakura.com
マイブーム：三重スリーアローズの応援

日本の明日を考え、津市内で専門学校開校

会員活動紹介

小林美津子さん 学校法人三重文化経済専門学校理事

「閉塞感のある社会を打開し、国内・海外の若人とともに日本の明日を考えていきたい」。そう語るのは学校法人三重文化経済専門学校で理事を務める小林美津子氏。

同氏は平成二十二年に学校法人の立ち上げを決定後、買い取った古い校舎の修繕作業に馴染みの業者とともに奔走、二人三脚の体で本年五月二十一日に開校へとこぎつけた。

入学した第一期生は中国人やネパール人などアジア中心の留学生が三十四名、十月には三十五名の生徒を引き続いて迎えることとなり、開校一年で七十名程度の生徒数を誇るようになる。

同校では豊かな人間性の育成に重点を置くが、第一期生はアジア出身が大勢、日本の技術のみを学ぼうとの先走り感を感じると小林氏は話す。

「技術立国である日本のバックグラウンドである、日本の文化や習慣等もしっかり学び、どのような背景で技術が生まれたかを勉強することが必要と感じています。その上で、日本の技術力を学んで欲しい」と話した上で、目まぐるしく変化する現代社会にしっかりと適応できる生徒を輩出したい旨も強調する。

最後に、今後の取り組みに対して小林氏は「今後は、日本人学生も増えると思う。安心・信頼といったイメージを持てる学校作りが喫緊の課題であり、県内外問わず当校をアピールしていきたい。そして、生徒自身は目標を持ち、何事にも意欲的に取り組むことのできる学校生活を送って欲しい」と期待を込めて締めくくった。



学校の立ち上げや現在の取り組みを話す
小林氏＝津市久居戸木町で

住 所：津市久居戸木町3796
電 話：059-255-3210
営業時間：9:00～20:00
定 休 日：土、日、祝日
U R L：http://www.mie-bunka.ac.jp/

会員活動紹介

身の回りから環境配備を

伊藤文さん グローイングジャパン株式会社取締役

「ボイラー用代替燃料 NEF(New Energy Fuel) が一般家庭ごみから生まれ、リサイクル品であることをより多くの人が知れば、環境配備はますます向上する」と、グローイングジャパン株式会社取締役伊藤文さんは、NEFの可能性を語った。

処分を待つだけの廃油を開発燃料として利用しようとした矢先、佐藤邦夫三重大学院教授との出会いが重なって共同研究にまでいたり、NEF が誕生した。

NEF は、カロリーが高く燃費効率に優れているため、CO₂削減に一役買う。

燃費に優れ環境に優しい点が評価され、平成 23 年 2 月には、若手企業家が大学と一緒に開発した新しい技術を PR する場「大学発ベンチャービジネスコンテスト」で準グランプリを受賞した。

環境にやさしい資源に携わったきっかけを聞くと、「親交が厚く、次世代燃料開発に挑む山口忠弘同社社長に共感したから」と語った。

今後は、NEF の可能性を広げるため、「学校やスーパーといった地域社会で廃油を回収できる環境を整えたい」と意気込んだ。



準グランプリの賞状を手に微笑む伊藤さん＝松阪市岡本町で

住 所：三重県松阪市岡本町254-3
電 話：0598-25-5577
U R L：http://www.growingjapan.com/
趣 味：仕事

親バカ子自慢

連載コーナー①



自らのビジョンを示す笠間哲秀さんは本年10月で勤務10年目を迎える＝名古屋市東区泉で

かさま てっしゅう
笠間 哲秀さん

職業……バーテンダー
年齢……32歳
趣味……サーフィン

Brasserie Absinthe

〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-12-33

「自身が目指す道を選びました。バーテンダーとして、本年で勤務10年目を迎えますが、今まで仕事が辛く感じたことはありません。今後は、独立も考えており、お客様が楽しく幸せな一時を過ごすことができる自分のお店を持つことが目標です」と語るのは笠間千鶴子さんの長男哲秀（てっしゅう）さん（32）。

一期一会を大切に おいしいお酒と料理でおもてなし

顧客の笑顔が元気の秘訣と話す哲秀さん。アブサンに立ち寄れば、おいしいお酒とフランス料理で最高のおもてなしを約束すると自信をみせる。

一期一会を大切にしたい、接客を心がける哲秀さん。勤務10年という節目を迎えた今、今後を考えることは重要。自身の店舗は慣れ親しんだ名古屋の街で探して行きたいと胸の内を語る。

対し、千鶴子さんは息子が自身で進むべき道を見つけた今となつては、家業の冠婚葬祭業を継ぐことに期待するのは難しい。

今後は、親として精一杯応援はしていきたいと哲秀さんに向けてエールを送る。

なぜなに？ 三重県

連載コーナー②

今号から、「組曲～コラボの現場～」で、会員同士での活動がみられなかった号では、新コーナー「なぜ？なに？三重県」をお届けします。「なぜ？なに？三重県」とは、パール倶楽部事務局員が見つけた“三重県の不思議”を取り上げて、紹介するコーナーです。

「四国八十八ヶ所」に隠された秘密

第1回目は、新しく事務局員となった鈴木が、臨済宗興聖派浄明院（津市乙部町3-12）にある「四国八十八ヶ所」＝写真＝を紹介します。

四国八十八ヶ所とは、四国に点在する八十八ヶ所霊場を真似した小さい御堂のことです。

御堂は、交通機関が発達していない時代、四国まで参拝に行けない真言宗信者のために作られました。しかし、真言宗信者のためとは建前で、本音は、寺院が資金を調達するためでした。

明治維新後、檀家が急速に減少したことで、寺院は資金繰りに難航しました。

そこで、御堂作りを計画しました。当然、寺院が御堂を作ることはできず、真言宗信者が施主となり、資金をねん出して、御堂が作られました。当時は、お布施が何よりの資金源であり、浄明院と同じく、一つの寺院内に、他の宗教の建物が建立されることは珍しくありませんでした。

御堂が作られた当時は、八十八堂ありましたが、現在は、約五十堂までに減少しました。道路整備のため、寺院の敷地が区画されたことが理由です。

しかし、十六代住職の安達公昭さんは、「現在でも、施主は忘れず参拝に訪れるので、修復作業に力を注ぎたい」と語りました。



フェニックス通り沿いにひっそりとたたずむ四国八十八ヶ所＝津市乙部町で

ビューティーコンサルタント 林 かつの

伊勢志摩 魅力再発見！

vol.7

こんにちは。伊勢志摩の癒しのパワーで もっとキレイに健康に♪を
コンセプトに、地元の人々や観光客に美容と健康のアドバイスをしている林
かつです。

今回は、今年の夏の鳥羽湾の花火についてお伝えしましょう。7月22日には、
「鳥羽みなとまつり」の花火、そして今年は、8月2日～16日と8月21～28日に、
「夏の鳥羽湾毎夜花火」が行われます。

鳥羽みなとまつりの花火は、「海が燃える夜」というキャッチフレーズ。
その名のとおり、海に放り投げられた海上自爆花火が、もの凄い迫力。まるで、
海の上で孔雀が羽を広げたような形と、ドーンとお腹に響くその音。一度
体感すると、又来年も、と人出も年々上昇しています。

鳥羽湾を舞台に繰り広げられるので、間近で観られるのも魅力。みなとま
つりの夜は、御木本真珠島は、無料開放されます。もちろん、佐田浜港やか
もめの散歩道からや、さらに観光船に乗船して、海から観ることもできます。
おすすめは、旅館やホテルからゆったりと観ること。急な雨が降っても大丈
夫ですよ。高台から見下ろす花火は、風情があつて贅沢そのものです。

また、みなとまつりの花火では、毎年趣向を凝らして、ハート型やキティ

ちゃん型の花火が、何発打ちあがつたか、というクイズもしています。さて、
今年はどんな企画になるでしょう。

そして、「夏の鳥羽湾毎夜花火」。これは、鳥羽の旅館組合が主催し、8月
のほぼ毎夜、8時30分から5分くらい上がるプチ花火大会。ほんの少しの時
間ですが、ドーンという音も辺りに響き渡り、意外に迫力があります。最近
では、アニメのキャラクターの花火など珍しい花火も打ちあがるので、子ど
も達も大喜び。毎夜行われるので、スケジュールも立てやすいですね。

今年は、少しでも、気持ちを明るくしたい、景気がよくなって欲しいと思っ
ていらつしやる方々が多いと思います。こういつた威勢のいい花火を観て、
元気になっていきますか。是非、浴衣を着たり、夏らしいおしゃれをして、
非日常を味わい、明日への活力をチャージしていきましょう。



海上自爆花火 鳥羽市で

プロフィール

● 林 かつ

鳥羽市在住。伊勢市出身、伊勢高校卒。ビューティー
コンサルタント、ヨガインストラクター、レイキヒー
ラー、お宿アドバイザーとして伊勢志摩地域で活躍中。
伯父は宇治山田商業高校卒、元読売巨人軍ピッチャー
で現・JR 東海ピッチングコーチ中村稔氏。

パール倶楽部イベントのお知らせ

〈9月イベント情報〉

伊勢新聞パール倶楽部 奈良旅行

日時 平成23年9月22日(木)

参加費 10,000円(お土産付)

内容 明治42年創業、奈良公園の高台に位置し、関西の迎賓館として知られる奈良ホテル。そのメインダイニングルーム「三笠の間」にて昼食をとった後、国宝や重文が多数展示されている奈良国立博物館へ立ち寄ります。

大きな張子の寅「世界一福寅」で有名な毘沙門天王の総本山「朝護孫子寺」へ参拝に向かうなど、歴史文化について造詣を深める良い機会となります。

是非、ご参加ください。

※少し歩きますので、動きやすい服装でのご参加をお待ちしております。



奈良ホテル正面

〈12月イベント情報〉

伊勢新聞パール倶楽部

チャリティーピアノコンサート

日時 平成23年12月6日(火)

場所 津リージョンプラザ お城ホール
(津市西丸之内23-1)

内容 三重県の活性化と東日本大震災の復興支援を目的に企画されました。

ウィーン国立音楽大学で教鞭をふるう倉田真里氏(会員の株式会社辻岡醸造の倉田志子氏の長女)の迫力ある生演奏をお楽しみください。



伊勢新聞パール倶楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町34番6号
株式会社伊勢新聞社営業部内
TEL:059(224)0003 FAX:059(226)3554
H P: <http://www.isenp.co.jp/plc/>

●メルマガについて

伊勢新聞パール倶楽部事務局は『伊勢新聞パール倶楽部メールマガジン(以下メルマガ)』と銘打つメルマガを月1回第3水曜日に各会員様へお届けしております。

まだ、メルマガがお手元に届いていない方・メルマガの存在を初めて知った方は伊勢新聞パール倶楽部事務局又は pearl@isenp.co.jp へご一報ください。その他の意見も受け付けております。

●コラム ―「英語」

ドメスティック企業が、社内で英語を公用語として導入した事例が注目を浴びた。

であれば、日本人同士でも英語で話さなければならない場合が生まれ、「不気味だ」と非難を浴びた。

英語で“Gas Station”のことを、和製英語では“ガソリンスタンド”と呼ぶ。

両者の意味は同じでも、伝え方一つで、コミュニケーションに支障が出る。

市場のグローバル化により、英語の需要はますます高まる一方だが、英語といっても一概ではない。

ドメスティック企業の海外進出を一例とするなら、日本人と中国人のあいだでは、“Janglish(和製英語)”や“Chinglish(華製英語)”といった地域独自の英語が話されているはずだ。

つまり、流暢なネイティブ英語よりも、稚拙ではあるが使い勝手の良い地域独自の英語が求められる。

なまりや方言を聞き取ることが、新しい英語力だ。

日本人同士が英語で会話をする光景は少し不気味だが、世界が小さくなってゆく瞬間でもある。

新規会員紹介 〈平成二十三年四月～六月〉

四日市市

笠間 千鶴子様
かさま ちづこ
ライフプラン株式会社

鈴鹿市

横田 美喜子様
よこた みきこ
横田材木店

津市

安東 英子様
あんどう ひでこ
有限会社東建土木

梅本 真澄様
うめもと ますみ
サンユー技研工業株式会社

川浪 素子様
かわなみ もとこ
医療法人川浪内科

松阪市

加藤 洋子様
かとう ひろこ

※掲載順は地域別区分後、五十音順となっております。

バレエは美しい体と美しい心を育てます



小原バレエスタジオ 生徒募集



■本部笹川スタジオ 四日市市笹川3-76-5 和幸ビル4F

月火水木金土……幼児科・ジュニア・中高生クラス・専科クラス
土……学年別クラス ※成人初心者クラスもあります

■菰野スタジオ

火……幼児科・ジュニア

■鈴鹿スタジオ

火……幼児科・ジュニア

■亀山みずほ台文化センター

金……幼児科・ジュニア

■東員スタジオ

木……幼児科・ジュニア

入会お申込み・お問合わせ

TEL&FAX 059(322)4782 / 090-1982-9054

URL http://www.geocities.jp/ohara_yoshimi_studio/

mail ohara_yoshimi_studio@yahoo.co.jp

ザ・バレコン名古屋 第1位

加藤 舞 (13才)